

第2次菊川市総合計画策定に伴う「理念」の検討

1. まちづくりの理念

第1次菊川市総合計画に掲げる「まちづくりの基本理念」については、合併時の「小笠町・菊川町新市将来構想」で掲げたまちづくりの理念を継承しています。

また、県内各市や2層構成参考自治体のまちづくりの「理念」と「将来像」をまとめた参考資料を参照してください。

【第1次菊川市総合計画に掲載される「まちづくりの理念」】

＜経緯＞ 現行の総合計画に掲載される、3つのまちづくりの理念、「共に生きる」「自らを拓く」「未来へ歩む」については、平成15年度に「小笠・菊川町任意合併協議会」において定められたものになり、新市におけるこれからのまちづくりのための原理、原則、精神的支柱などの意味で掲げられたものになります。合併後より策定された第1次菊川市総合計画では、この「まちづくりの理念」を継承しています。＜平成15年度＞（裏面参照）

共に生きる＜共生と協働＞

人と自然が支えあい、地域が自らの意志と責任で行動する行政との協働のまちづくり

市民と豊かな自然環境が共生し、市民と行政が互いの役割分担を認識し、顔の見える関係を保ちながら協働するまちづくりを目指します。

そのため、地域が自らの意思と責任で行動し、互いに協調・協力して地域のために活動することを重視します。

自らを拓く＜自立と交流＞

生涯学習や幅広い分野の交流により自らの豊かな知恵・創造を拓くまちづくり

安心して暮らせることはもとより、特色がある魅力的なまちづくりを目指します。

そのため、市民が生涯学習や幅広い分野での交流を実践して、自らのより豊かな知恵と創造を拓くことを重視します。

未来へ歩む＜継承と発展＞

伝統文化や技術を評価・継承し未来に向かって確実に進歩するまちづくり

ふるさとの「よさ」を再発見し、誇れる資源を活かし、長い歴史の中で受け継がれた伝統文化や形成された技術をたたえ、継承し、新たな発展を加えて、未来に向かって確実に進歩することを重視します。

「まちづくりの理念」については、まちづくりを進めていく上での基本的・骨幹的なものになるため、事務局としては、市がまちづくりを推進していく道しるべとなる「まちづくりの理念」が、総合計画の期間で毎回変わることは、好ましくないと考えており、市が誕生した時に考えられたまちづくりの理念を継承していくことが理想と考えています。

(裏面)

<出典：小笠町・菊川町新市将来構想より（3頁）>

Ⅲ. まちづくりの理念

これまでのまちづくりはどちらかというと行政主導型で進められてきましたが、これからは本格的な市民主導型の“地域づくり・人づくり”を進めていきます。

この理念は、新市のまちづくりを推進する際の原則を示すものであり、新市における、これからのまちづくりにおいて、この考え方を基本とします。

新しいまちづくりの“3つの理念”

●^{とも い}共に生きる

<共生と協働>

—市民すべてが、地域の人や自然と共に生きるという意識を高め、顔の見える関係を基本としながら、協調・協力して互いのため地域のために働くことを重視します。

●^{みずか ひら}自らを拓く

<自立と交流>

—自分たちのまちは自分たちで創るという自己責任を踏まえた考えのもとに、自立した都市をめざすこと、ならびに生涯学習や幅広い世界との交流により、自らについてより豊かな考え方を拓くことを重視します。

●^{みらい あゆ}未来へ歩む

<継承と発展>

—これまでに培った地域の歴史・文化・産業をふまえるとともに、新たな視点による発展を加え、未来に向かって一歩一歩確実に歩みをすすめることを重視します。